

製品名: FGL1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00485**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

抗原情報

遺伝子名	FGL1
別名	FGL1; HFREP1; Fibrinogen-like protein 1; HP-041; Hepassocin; Hepatocyte-derived fibrinogen-related protein 1; HFREP-1; Liver fibrinogen-related protein 1; LFIRE-1
遺伝子 ID	2267
SwissProt ID	Q08830
免疫原	ヒトヘパソシンの内部領域から得られた合成ペプチド。

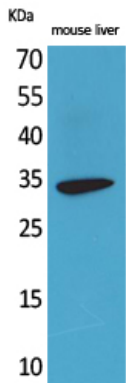
背景

LAG3 の主要リガンドとして作用して抗原特異的 T 細胞の活性化を阻害する免疫抑制分子。

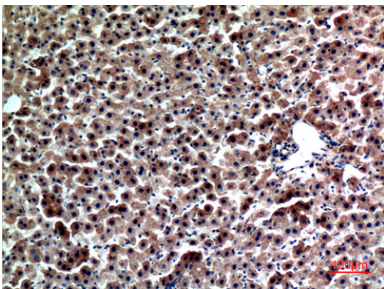
研究分野

心血管系

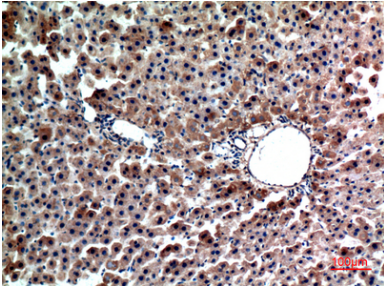
画像データ



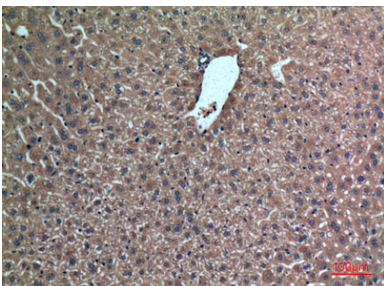
FGL1 抗体を使用したマウス肝臓溶解物中の FGL1 のウエスタンブロット分析。



FGL1 抗体を使用したパラフィン包埋ラット肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



FGL1 抗体を用いたパラフィン包埋ラット肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



FGL1 抗体を使用したパラフィン包埋マウス肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。